

森林アドバイザー養成講座

R7年度
受講生の声

講座への参加をきっかけに「これからも森づくりやボランティア活動に関わりたい」「身近な森林を大切にしたい」という声を多くいただきました。誰もが関われる講座で講師や参加者と交流しながら楽しく学ぶことができます。初めてでも丁寧なサポートで安心して取り組みます。



講話

- ・学問的視点と現場の実践的視点の両面から森林を学ぶことができた。
- ・森林の多様な役割や林業を取り巻く現状についての理解が深まった。
- ・森林が私たちの暮らしをささえていることが分かりやすく学べた。



枝払い

チェーンソー

- ・はじめてチェーンソーに触れたが、安全指導のもと、安心して体験できた。
- ・作業の難しさと同時に林業技術の奥深さを感じた。
- ・自分の手で作業をやり遂げた達成感を味わえた。
- ・木工体験を通じて、自然木の扱いの難しさを実感し、自作の椅子が完成したことに大きな達成感を得た。
- ・木の重心や倒れる方向を考える難しさを学び、迫力を間近で感じる貴重な機会となった。
- ・単純な作業ではなく、高度な技術と責任を伴うものであることを理解した。



作業着もしっかり身につけます

森の手入れ

- ・日頃は見えにくい森の管理の大切さを体を動かしながら学んだ。
- ・木の成長を助け、森を元気に保つためのとても大切な手入れ作業を体験した。



見立て作業
道具の手入れはかせません

森林整備

- ・下刈り作業を通じて、森を健全に保つためには継続的な手入れが欠かせないことを学んだ。
- ・一見地味に見える作業が、森の未来を支えていることを実感した。



仮払い機



森林アドバイザー養成講座

は、安全に配慮し、実習と講義を組み合わせ、市民が森林ボランティアとして森を支える力を身につける体験型養成講座です。

主催：仙台市農林企画課